

神奈川で開かれた茗溪のつどい

『若手交流会』が発足して四年目となります。参加者も増え、新鮮な光景も見られました。十二月には恒例の『茗溪会管理職等懇親会』が、年が改まり、これも毎年開催の『桐心会』が開かれました。

桐心会

総会・懇親会の報告

平成二十七年三月十四日(土)に、茗溪会体育の同窓で組織する「桐心会」総会と懇親会が開催されました。会場は大和市の北京飯店で、三十五名の会員にご出席いただきました。

懇親会では、落会長の挨拶の後、宮原孝雄先生(昭和三十年卒)に乾杯のご発声をいただきました。宮原先生には、毎年後輩に檄を飛ばしていただき感謝しております。

筑波大学の現役諸君の様子ですが、昨年十一月に男子バスケットボール部が全日本大学バスケットボール選手権大会で優勝しました。東京教育大学時代の優勝以来六十一年ぶりだそうです。

また、ラグビー部が今年一月、全国大学ラグビーフットボール選手権大会で一昨年に続き、準優勝をしています。

願わくは、箱根駅伝でまた桐の葉を胸に母校の選手が走る姿が見たい。現役時代に箱根駅伝に出場した椎谷勝彦先生(昭和四十一卒)が熱い想いを語ってくれました。



桐心会 会長 落 信久
副会長 矢島 博

文責 大石進 (s五六筑体)

大学の後輩の活躍を期待しながら、お酒を酌み交わし、語る体育の仲間、先輩から後輩へ茗溪の心は固く受け継がれていきます。各テーブルごとに、近況報告をした後、最後は全員で円陣、肩を組み、宣揚歌「桐の葉」を声高らかに歌いました。

若手交流会

平成二六年十一月十五日(土)
「大陸」十八時 参加者十六名

もはや、「恒例の」と申し上げてもいいかもしれません。一昨年の総会で、若手交流会の幹事の方々から開催時期を相談され、「十一月第二週の土曜日」、場所も、清水会長(紹介の「大陸」)横浜スカイビルの中ホールと固定するように助言させていただいたのが、つい先頃のことのように思えます。会場には、少し早目に到着しましたが、みなさんほぼ参集してらっしゃいました。

風景 多士済々

都合で参加できなくなりました。残念です！という伝言が参加を考えている方や気にかけている方が確実に増えているようです。しかも、業種は様々で、教育関係者はむしろ少ない方かもしれません。その意味で、清水会長が再三にわたり強調し念願していらつしやる、様々な業界の方々が「同窓」という共通項によつて集う風景。その原型が、若手交流会にはあるように思えます。代表の乾氏が教職ではなく、民間企業(NTT)勤務ということも影響しているのかもしれない。ぜひとも、この傾向が進展してほしいものです。



風景 家族連れだった

宴たけなわ、円卓を囲んで談笑中といったスナップ写真です。よく見ると、写真中央に「若手過ぎる」(笑)の方が写ってらつしやる。左手のお二人、合田ご夫妻のお子さんで、紫峰ちゃんです。小学四年生。お子さんに留守番させて、ご夫妻だけで参加というわけにはいかず、三人揃って参加していただいたということです。

風景 連綿と続く茗溪の水

若手の会代表者の乾氏は「もう若手じゃないですよ」と、おっしゃいます。「平成卒業生」を「若手」として「若手交流会」が発足。以来、四年が経ちます。

顧問の加藤氏と西塚氏は筑波大の昭和卒業生。そして、昨年続き、ご多忙の中、会合の間を縫って駆けつけていらつしやりました川田理事は、教育大の昭和卒業生。

教育大の昭和卒業生→筑波大の昭和卒業生→筑波大の平成卒業生。連綿と続く茗溪の水の流れが若手交流会にありました。

文責 矢野正人 (s五三院農)



茗溪の水

念願の教員生活が スタートしました



伊東明宏 (H26 筑院人体)

平成二五年度に人間総合科学
研究科体育学専攻を修了いたしま
した。本年度より神奈川県立横浜
旭陵高校に勤務しております。教
科は保健体育です。

茗溪会の先輩方におかれましては
教員採用試験の際に多大なるご指
導、お力添えをいただきまして誠に
ありがとうございました。特に、二
次試験の模擬授業、面接対策では
二日間にわたり厳しいながらも温
かいご指導をいただきました。ま
た、対策後の懇親会では、先輩方に
激励の言葉や体験談をお話した
だき、教員という職業の素晴らし
さを確信することができました。試
験を何とか乗り切ることができた
のもあの二日間があったからだと思
います。ご指導いただいた先輩方、
本当にありがとうございました。

四月から念願の教員生活がスタ
ートしました。学校での仕事につい
てはまだまだ分からないことが多
く、戸惑うこともありませんが、一
つ勉強だと思いつながり取り組ま
せていただいております。何よりも

生徒たちの笑顔や真剣な表情を
日々見ることができ、教員になれた
ことの幸せを噛みしめながら充実し
た生活を送ることができています。
私は幼少より剣道を続けているので
すが、横浜旭陵高校では、バスケッ
ト部、横浜旭陵高校では、バスケッ
ト部、専門外ということもあり
おりません。専門外という点もあ
り、技術的な指導に関してはまだま
だいたらぬ点が多いですが、毎日部
員と一緒に汗を流しています。

このような充実した生活を送るこ
とができるのも日頃の先輩方
のご指導、ご支援のおかげです。これ
からも筑波で学んだことや育んだ絆
を大切にしながら日々精進してい
きたいと考えておりますので、今後と
もご指導ご鞭撻のほど何卒よろしく
お願い申し上げます。

夢がかなって

岸葉月(H二七筑看護)

平成二七年度に筑波大学医学群
看護学類を卒業いたしました。こ
の四月より、神奈川県立鶴見総合
高等学校に看護教諭として勤務し
ております。

私は、高校までの学生生活をほ
ぼ神奈川県で過ごしてきました
が、看護教諭という夢をかなえる
ため、筑波大学に進学し、つくば
にて一人暮らしを経験しました。

つくばでの生活は、たくさんの素
敵な出会いを与えてくれたと思
います。学生だからできる経験をと
思い、中高生を対象とした健康教
育を行うボランティアをしたり、
世界各地に旅に出かけて自分の視



夢が叶い、荏柄天神社
にお礼参りをしました。

野を広げることに時間をたっぷり
と使いました。これからはそれら
で得た経験を活かして、生徒や教
員にとって親しみやすい、安心で
きる保健室を作っていけたらと思
っています。四月に勤務が始まっ
てからは、生徒との距離感や、教
員としての生徒とのかかわり方
日々反省することばかりですが、
周りにいらつしやる経験豊富な先
輩教諭の方々と、看護教諭の先輩
方からしっかりと学んでいきたい
です。

今、自分の夢をかなえ、神奈川
県に戻ってこれたことをとてもう
れしく思っております。私が教員
採用試験に合格できたのも、二次
試験の直前に面接対策をしてくだ
さった神奈川県茗溪会の先生方
のおかげです。この会では、同じ目
標を持つ仲間と、不安や期待を共
有することができ、極限まで高ま
っていた緊張をすつと和らげるこ
とができました。また、先生方の
適切かつポジティブなご指導によ
り、今の自分というものに自信を
持つて本番に臨むことができたの
ではないかと思えます。茗溪会の
大先輩方はとても気さくで、後輩
思いの方々ばかりです。今後も、
ご一緒できる機会を楽しみに、こ
れからも頑張っていきたいと思っ
ております。

退職を迎えて

大畑多津雄 (S五二教大数)

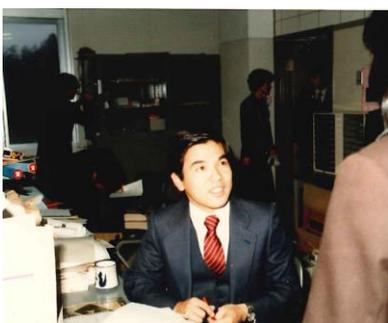
自分が神奈川県に勤め始めた昭
和五二年の県の採用は確か四四四
名であり、まさに県立高校一〇〇
校計画の真只中でありました。急
増する中学卒業者を背景に、我々
の前後の世代は大量に採用される
という恵まれた時代を過ごしてい
ました。多くの同輩に恵まれ、学
校を訪問しても研修に出掛けて
も、いつも仲間意識を感じ、互いに
相談しあいながら、楽しく教員生
活を送ったことを覚えています。

私の最初の赴任先は、その年プレ
ハブで開校した上鶴間高校であり、
各種内規など学校の体制づくりを
ベテランの先生方と一緒に進めると
いう経験をさせてもらいました。ご
一緒した先生方は本当に素晴らし
い先生ばかりで、理想論を唱える
自分に対して、時には厳しく指摘
いただいたり、時には多めに励まし
てくださったり、そんな実り豊かな教
員生活をスタートできたことは本
当に幸せなことと感謝しております。
教諭としては続く鎌倉高校、厚
木南高校、厚木高校と様々なニ
ズを持った生徒と触れ合う中で、
様々な側面から「高校教育」を学ば
せてもらいました。この間茗溪の先
生方から様々な指針をいただいで
きたことは言うまでもありません。

また人事異動や私学行政の厳し
い業務にも取り組ませていただき、
学校現場では経験できない教育行
政の考え方も経験させていただきました。
指導部長としての最後の二
年間は、微妙なバランスの中で業務

を確実に遂行しなければならぬ
厳しい二年間でした。幹部との協
議、議員への対応、指導部三課の進
行管理と全く気の抜けない毎日
でした。振り返って考えれば、人的
ネットワーク、教育に係った様々
な情報、仕事に対する自分の姿勢、
自信など、現在の自分を形づくる
要素の多くをその二年間で獲得し
たように思います。

この四月からは神奈川県立工科大学
教員採用試験対策室で働かせてい
ただいております。指導部長時代に
組織的な授業改善を最大のテーマ
として取り組み、教科指導に優れ
た教員を生徒たちに提供したい、そ
のためにはどうすればいいのか、す
でに学校現場で働いている先生方
の意識への働きかけについて気を配
ったものでした。今後は教育現場にこれ
から飛び込んでいこうとする熱意
ある若者に、自分が教師として積
み重ねてきた経験、さらに教育に
対する行政の視点を伝えていくこ
とを通して、一人でも多くの素晴
らしい教員を輩出できますよう、微
力ではありますが、全力で取り組
んでいきたいと考えております。



上鶴間高校職員室にて

会員の皆様

神奈川茗溪会
会長 清水 進一

神奈川茗溪会の総会と懇親会のご案内

青葉若葉のみぎり、会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のほどお喜び申し上げます。

さて、神奈川茗溪会の総会と懇親会を、下記の要領で開催いたしますので、どうぞ、お誘いあわせの上、奮ってご参集くださるようご案内申し上げます。

記

開催日時 平成27年7月4日(土) 11:00～(受付 10:45)

開催場所 ローズホテル横浜(☎ 045-681-3311)

●JR根岸線「石川町(北口)」より徒歩10分

●みなとみらい線「元町・中華街駅」より徒歩1分

<http://www.rosehotelyokohama.com/content/access>

日程 総会 11:00～12:30 宴会場(2階)

*総会には、筑波大学の永田恭介学長と茗溪会の西川潔副理事長が出席され、ご挨拶を頂戴する予定になっています。

懇親会： 12:30～15:00 ポール・ルーム(2階)

*当日、参加者人数により、会場が変更となる場合がございます。

懇親会費等 懇親会費等 10,000円(支部会費 1,000円を含みます。)

*当日、受付にて申し受けます。

*本部会費 3,500円/年 の納入も受け付けております。

●ご出欠席の返信 6月19日(金)までに、返信用はがきにてお知らせください。

●支部会費納入のお願い 当日ご参加できない方は、同封の払い込み用紙にて支部会費(1,000円/年)を納入くださるようお願い申し上げます。なお、ご夫妻で会員の方につきましては、ご案内を1通とさせていただきます。ご了承ください(支部会費はお一人分で結構でございます)。

*本会の名称変更に伴い、払込み用紙の払込先(加入者名)も「神奈川茗溪会」とすべきですが、郵便局の変更手続きが煩雑なため、旧名称の「茗溪会神奈川支部」となっています。ご了承ください。

○ご不明の点は、事務局、または以下の地区委員までお問い合わせください。

○住所変更や不明会員の情報などありましたら、事務局または地区委員までお知らせください。

事務局長 矢野 正人 (s53 教院農経) 080-5410-9149 E-mail : yano@kait.jp

川崎地区【川崎市】

委員 西村 宗一郎 (s51 教大植) 045-362-7010

委員 南 敏章 (s52 教大数) 045-945-2086

横浜地区【横浜市】

委員 佐々木 悦子 (s46 教大体) 045-784-0670

委員 望月 正大 (s51 教大数) 045-812-0281

横三・湘鎌地区【横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、三浦郡、茅ヶ崎市、藤沢市、高座郡】

委員 鈴木 彰 (s49 教大地) 0467-52-5354

委員 瀬木 明 (s52 教大応数) 090-1040-3612

平秦・西湘地区【平塚市、小田原市、中郡、足柄上郡、足柄下郡、南足柄市、秦野市、伊勢原市】

委員 細谷 俊一 (s47 教大生化工) 0465-77-2046

委員 井出 真理子 (s47 教大英) 0463-71-1191

北相地区【厚木市、海老名市、綾瀬市、大和市、座間市、相模原市、愛甲郡、神奈川県外】

委員 大島 恵子 (s46 教大植) 042-715-0317

委員 本木 幹雄 (s50 教大体健) 090-3817-3402